





グレート・リフト・ヴァレーの雲海



フラミンゴが群生するナクル湖



キリマンジャロ山とアフリカゾウの群れ

もがイメージするアフリカの姿にもっとも近いのが、ここかもしれません。巨大なゾウの群れの住処であり、さまざまな野生動物がタンザニアとの間を行き来し、大自然のなかで暮らしています。早朝と夕方にはサファリカーで迫力あ

るサファリ・ドライブを満喫。マサイ族はキリマンジャロをヌガイエ・ヌガイ(神の家)と呼んで仰ぎ見えています。標高 5,895m のキリマンジャロ山は、火山としては世界最高峰。赤道直下の氷河と万年雪は突き抜けるような青空に輝い



マサイ村訪問



ロッジにいながら動物を観察できる“ツリートップス”

ており、その堂々たる威容はまさしく“神の家”と呼ぶに相応しいです。アンボセリ国立公園は、かつてヘミングウェイが滞在し、「キリマンジャロの雪」を執筆したことでも有名です。ここで1994年の初日の出を拝み、キリマンジャロの雄姿が水面に映るロッジのプールで初泳ぎをしてからマサイ村へお年始に行き、マサイ族の生活の知恵を実感してきました。

アバーディア山脈に囲まれたケニア中部のアバーディア国立公園は、標高2,300mの高地に位置しており、サバンナの多いケニアの国立公園としては珍しく森林地帯にあります。ここでは宿泊施設から動物を観察することができるので、他の国立公園とは一味違った野生動物のドラマを見られます。動物の観察小屋ともいえるべき「ツリートップス」と「ジ・アーク」は、歴史のあるホテル。「ツリートップス」は、“樹上”を意識して作られた建物で、エリザベス女王も

宿泊したことがあります。ここでは、ホテル前の水場、塩場に集まる動物をテラスから観察でき、特に石室(半地下室)からは間近に動物の息吹を感じられるので迫力満点。また、ホテルでは夜間も動物の出現を教えてくれるので、通常のサファリ・ドライブなどでは見ることのできない夜行性の動物の生態が見られます。

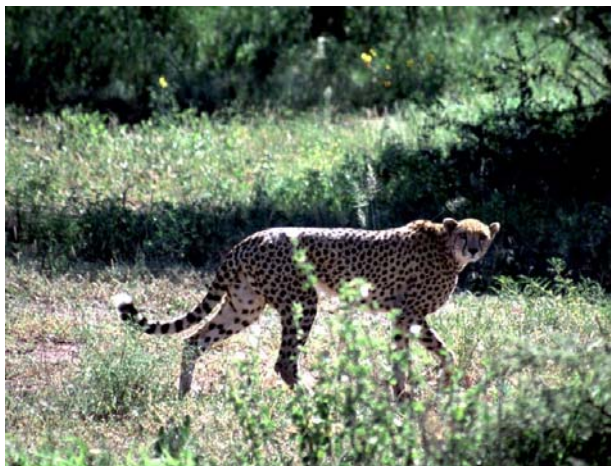
ナイロビから南西に約260km、タンザニアとの国境地帯にあるマサイマラ国立保護区は、400万年前の太古の地球の姿を残すと言われ、草原や疎林帯、沼沢地、川、丘陵などの変化に富んだ地形が特徴的。また、野生動物の種類も多く水辺にはインパラやウォーターバックなどの草原動物、疎林帯ではゾウやキリン、バッファローが生息しています。そして、その頂点に君臨するのが百獣の王ライオン。ここは、古くから続く生態系のつながりを実感できる野生動物の楽園なのです。保護区内では早朝と夕方に



マサイマラ国立保護区のアミメキリンの群れ



水場を集まるアフリカゾウ



草原の貴公子, チーター



立派な鬘、百獣の王ライオン

サファリカーで迫力あるサファリ・ドライブを満喫できますが、いちばんのお勧めはバルーンサファリです。バルーンで日の出を迎え、眼下に朝日を浴びながらサバンナを散歩するライオンの群を見ます。早朝のバルーンサファリを楽しんだ後は、大草原でシャンパンを飲みながらの朝食。広大なマサイマラ国立保護区でのサファリは何日あっても十分とは言えず、最終日は後ろ髪を引かれつつも野生動物の宝庫をチェッ

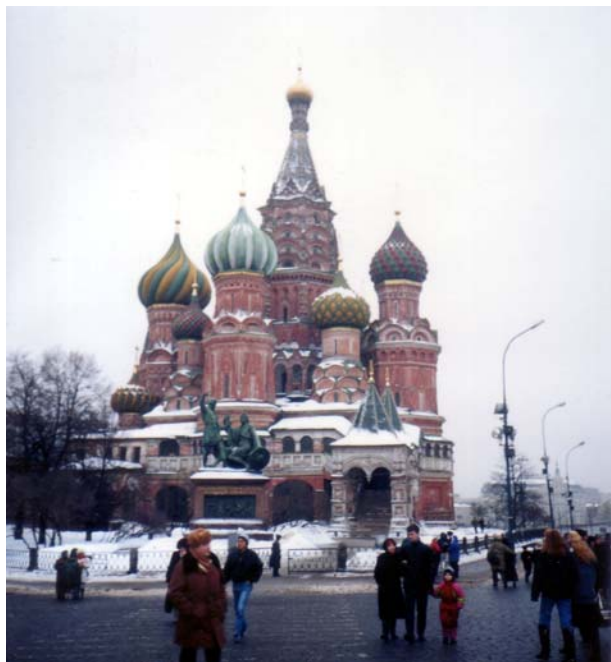
クアウト。

標高 1,000m 赤道直下の日差しは、見るものすべてにクリアな立体感を与えます。だから鳥も花も女たちのカラフルな衣装も、弾む動きとともに楽しいリズムのように目に飛び込んできます。東アフリカの魅力は、人間と豊かな自然が調和して創る、優しく暖かい温かい世界観。土は肥えて水も豊富なこの地では、耕す人々も牛を追う人も、そして野生動物も等しく満たされているように映ります。遙かな谷を越えるコーヒー畑、広大なバナナプランテーション、働く女たちの歌声を聞きながらいくつかの市場を過ぎ、いくつかの村を過ぎれば、そこに一面のフラミンゴ。誰もが草を食む。マサイの青年が何も見なかったかのように通り過ぎていきます。すべてを包むブーケンベリアのように甘い空気、突き抜ける青空、緑あふれる平原、陽炎の炎え立つ赤土の道、そしてキリマンジャロの雪。ケニアはどこまでも美しい。

ナイロビからはアエロフロートロシア航空で空路モスクワへ。途中、エンジントラブルでイエメンのアデンに緊急着陸するというハプニングに遭い、モスクワからの代替機到着までアデンのホテルで待機することになりました。ロビーで不安げな顔している旅客たちを横目に、私たちは追加のオプションツアーとばかりにア



眼下にはライオンの群れ“バルーンサファリ”



ネギ坊主の形で知られる“聖ワシリー寺院”

デンの街へと繰り出し、市内観光を楽しみました。

翌日、アデンに到着した代替機でモスクワへ。モスクワ到着後、まずは市内にあるトランジットホテルに案内されチェックイン。一息ついてからガイドと専用車でモスクワ市内の観光にかけました。古代スラブ語で美しい広場の意味の「赤の広場」やロシアを代表するたまねぎ型の屋根が特徴の「聖ワシリー寺院」、クレムリ

ンなどを観光し、地下鉄にも乗りました。灼熱のアフリカ(ケニア)および中東(アデン)から一気に雪降るモスクワ、温度差には閉口しました。

読者の皆様、アフリカ大陸へ、その第一歩を踏み出してみませんか。ケニアはアフリカ旅行の第一歩をしるすにはいい国です。

“萩さん”，黄泉でもよい旅を。